

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木冷凍冷蔵物流センター/フレッシャ食品工場新築工事	階数	地上6F
建設地	厚木市戸室五丁目1104番1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	390人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所, 飲食店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年8月28日
敷地面積	16,235 m ²	作成者	北野建設㈱一級建築士事務所
建築面積	7,524 m ²	確認日	2017年8月29日
延床面積	23,440 m ²	確認者	北野建設㈱一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.0

★:☆☆☆☆☆ A:☆☆☆☆☆ B+:☆☆☆☆☆ B:☆☆☆☆☆ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 60%:30%

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 神奈川県厚木市に建設される物流センター及び食品工場である。空地部分は積極的に緑化を行い、生物資源の創出や温熱環境負荷の向上に配慮している。効率の良い設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他 -
Q1 室内環境 ・全館禁煙及び屋外にも喫煙コーナーを設けないことで、空気室環境の向上に配慮した。	Q2 サービス性能 ・リフレッシュスペースや自販機の設置により、機能性・快適性の向上に配慮する。 ・階高は4.0m以上とし、将来的な更新性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・高温排熱を伴う機器を設置せず、空地の積極的な緑化等により、温熱環境の向上に配慮する。
LR1 エネルギー ・LED照明を採用し、エネルギー消費量を抑える。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮する。 ・再利用可能なユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・燃焼機器を設置させず、大気汚染防止に配慮する。 ・駐車場・駐輪場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮する。 ・屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される